

亀岡

衆議院議員

Member of the House of Representatives

よしたみ

第193回通常国会活動報告

福島に笑顔を！ 世界に誇る日本を！

東日本大震災から6年が経過し、昨年以上に結果を追い求めて、災害前より良くなったと言われるふるさと福島づくりの為に邁進します。そして東京オリンピックの野球・ソフトボールの福島開催が決定し、震災の福島からオリンピックの福島へと衣替えできるように力を尽くします。1月20日より第193回国会が始まり、現在自由民主党 文部科学部会長として、教育の機会均等を図る給付型奨学金の創設、社会情勢の変化に即応した専門職大学の創設、そして10年振りの学習指導要領改訂と未来を担う子供達の為に働いて参ります。



国会 委員会質問で福島の未来を切り拓く！



衆議院 本会議代表質問 4月4日

衆議院の本会議にて福島復興再生特別措置法の改正案について代表質問をし、特定復興拠点地域整備の進め方をただしノベーションコースト構想にも触れた。そして東京オリンピック野球ソフトボールの県内開催の決意を問いました。五輪開催は風評被害払拭の絶好の機会。原発事故の福島からオリンピックの福島にイメージ転換するチャンスである。



衆議院 予算委員会 5月8日

復興大臣の重み、そして安倍晋三総理大臣が震災当時から持ち続けている復興への強い思いを改めて確認させて頂き、吉野復興大臣へ今後のいじめ対策、風評被害対策、産業なりわいの再生、帰還支援、ノベーションコースト構想について質問し、被災を経験した大臣として勇氣と元氣と希望を被災地にもたらず強い姿勢を示す事を強くお願いして質問を終えた。

悲しみを振り払い、東日本大震災を乗り越える！復興に向けて全力！！



南相馬市鎮魂復興市民植樹祭にて総理からのメッセージを代読



南相馬鹿島SAスマートICが開通し、セデッかしまが開所！長年の夢が叶った！



現在はJA ふくしま未来へと合併。共に農業者の皆様と歩み続ける



絆診療所が新築移転し開所された。遠藤先生の思いが心の拠り所となって形となる



真野川漁港施設開所式典
漁業の完全復活を目指して全力を傾注



消防団春季検閲 震災当時から共に活動した団員の皆様と



南相馬市立総合病院脳卒中センター落成式 市民の健康を守る！



閉区となってしまう鹿島区南右田行政区にてさくらの記念植樹を行った



南相馬市小高区教育施設再開等記念祝賀会
小高区の教育施設が再開し、子どもたちがまた胸を張ってこの地で学び始めた

相馬野馬追騎馬会後援会を立ち上げ、一千余年の歴史を支援し続ける！



戦中も絶えることなく祭行され続けた伝統と文化である相馬野馬追、東日本大震災で多くの犠牲者、又は馬も被害に遭い、開催が危ぶまれたが『騎馬会を支援する後援会』を立ち上げて何とか開催にこぎつけることが出来た。以後毎年支援を続けさせていただいており、全国各地から多くの人が集まり毎年盛大に開催することができている。

できることはなんでもやる！結果を追求し続ける！！



安倍総理が来県し、授業を再開したばかりの南相馬市の小高小学校で開催されたロボット・ドローン教室に参加され、ロボット産業の集積地を目指す南相馬市、そして地元で頑張る子どもたちを激励



相馬地方において第一回の記念すべきパークゴルフ大会を素晴らしい青空のもと240名を超える選手の皆様にお集まりいただき、盛大に開催することができた 後日衆議院予算委員会で体験談を紹介した



オーストリア大使館にて南相馬ジュニアコーラスアンサンブルの皆様への伝達式が行われ、出席。東北復興支援チャリティ UTAU DAIKU in ウィーンではウィーン少年合唱団とともに「復興への絆」を毎年立派に唄いあげている



12年に一度の鹿島区北海老に伝わる民俗芸能「鶏足神社遷宮祭」に参列

小高病院「オンライン診療プロジェクト」総理官邸にて総理にタブレットを利用した診療を体験していただく

毎年南相馬市議会議員の中央研修会の段取りを仰せつかっている。市民の生活向上の為に皆で国策を学ぶ

阿武隈東道路開通！！仕事が実り形になる！！東北の横の軸を創りあげる！！



2005年に初当選させて頂き、最初に成し遂げた仕事 道路がいよいよ開通となる、相馬市から福島・米沢までつなぐ横の軸をいち早く整備し、復興を後押しするインフラの整備を完成させていく。



東日本大震災から6年を迎えて...

あの日から6年の月日が経った。振り返れば困難の連続であった。震災当時は、議員ではなかったが、国民の為の政治家として「できることはやろう」と救援物資を集めて避難所へ届け、毎日の炊き出しを行ないながら避難の為のガソリンの手配など地震、津波、原発事故の3重苦に悩まされた福島の現状に対応し続けた。震災から2年が経って、議員となり結果を出すべく「こども元気復活交付金」の創設など福島の復興における結果を追求し続けた。又、2020年の東京オリンピックにおける福島県への野球・ソフトボールの競技誘致をIOCで承認いただいた。まさに震災の福島からオリンピックの福島に衣替えする最大のチャンスがやってくる。これからも皆で力を合わせて、災害前よりよくなったと言われる福島県を目指して頑張る一心である。



相馬市の東日本大震災慰霊碑にて追悼の意を捧げ、復興へ向けての決意を新たにす。



3月11日 南相馬市東日本大震災追悼式に出席、献花をし生前のご恩に報いるために働き続ける事を誓った。